

# Sustainability of Digital Media and Content forever Sustainability of Digital Media and Content forever? How can we cope with Digital Dilemma?

デジタル知の

恒久的な保存と  
活用にむけて

デジタルジレンマへの挑戦

慶應義塾大学 DMC 機構主催 国際シンポジウム

10:00 - 10:15

開会の挨拶 村井純 慶應義塾常任理事

10:15 - 11:00

基調講演 1 -- 映画コンテンツにおけるデジタルジレンマ (仮) --

Andrew Maltz Director of the Science and Technology Council  
The Academy of Motion Picture Arts and Sciences

11:00 - 11:45

基調講演 2 -- 巨大な収蔵図書館のデジタルアーカイブの展望 (仮) --

長尾真 国立国会図書館長

11:45 - 12:30

基調講演 3 -- 米国公文書の恒久保存の課題と展望 (仮) --

Kenneth Thibodeau Director of Electronic Records Archives Program  
National Archives and Records Administration

12:30 - 13:30

ランチタイム

13:30 - 13:40

慶應義塾大学 DMC 機構長挨拶 安西祐一郎 慶應義塾長

13:40 - 14:10

講演 -- デジタルインフォテック研究の課題と展望 --

青山友紀 慶應義塾大学 DMC 機構教授

14:10 - 15:10

パネルディスカッション 1 -- デジタル知の集積とその流通の課題と展望 --

安達淳 国立情報学研究所教授  
長町亨 NHK ライツ・アーカイブスセンター担当部長  
小野定康 慶應義塾大学 DMC 機構教授

15:10 - 16:10

パネルディスカッション 2 -- 持続するデジタルアーカイブシステムの課題と展望 --

Laurin Herr コンサルタント [ デジタルジレンマの課題とその解決に向けた取り組み (仮) ]  
井橋孝夫 ビブレステック株式会社 代表取締役社長 [ 光ディスクの持続性と今後の課題 (仮) ]  
越智裕之 京都大学准教授 [ ガラスディスク技術の可能性 ]  
押木満雅 情報ストレージ研究推進機構専務理事 [ ハードディスクの持続性と今後の課題 (仮) ]

16:10 - 16:25

休憩

16:25 - 17:25

鼎談 -- デジタル知と 21 世紀社会システムの展望 --

長尾真 国立国会図書館長  
青柳正規 国立西洋美術館長  
所真理雄 ソニーコンピューターサイエンス研究所 代表取締役社長  
(進行) 中村伊知哉 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授

17:25 - 17:30

クロージング

17:30 - 19:00

懇親会 (予定)

2008年10月24日(金)

10:00~17:30



振興調整費



Research Institute  
for Digital Media and Content

本シンポジウムは文部科学省の科学技術振興調整費による委託契約に基づき、開催されています。

慶應義塾大学三田キャンパス東館 6F

参加費無料 同時通訳あり

慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構  
(DMC 機構)

参加申込先: dmc-sympo081024@dmc.keio.ac.jp